

木田市長の

ど〜んと

真珠のように輝く
まちづくりのために

コミュニケーション

vol.36

講演「現代社会と大和(にほん)の心」
を聞いて

先日、鳥羽ライオンズクラブの主催による講演会がありました。

講師は、奈良薬師寺執事長の村上太胤師と俳優の滝田栄氏で、「現代社会と大和(にほん)の心」というタイトルで話が進みました。お二人ともちょうどわたしと同年代のかがたですが、多くの経験と実績をもとに、堂々かつゆつたりとした態度で、好感の持てる話しぶりでした。

村上師は、高職にありがちな気難しいところもなく、人懐こさとユーモアに溢れていました。そして、滝田氏が話しやすいように自分は脇役という態度でうまく誘導されていたように思いました。

滝田栄氏はご存じのかたも多いと思いますが、NHKの

大河ドラマ「徳川家康」で主役を務めたり、舞台「レ・ミゼラブル」の主演、ジャン・バルジャンを14年間務めたりと大活躍の俳優です。さすがに話がうまいなあと思えました。特に、「レ・ミゼラブル(あゝ無情)」の内容を話すときなどは、聞いているみんなが話の中に引き込まれていくようでした。

滝田氏は「レ・ミゼラブル」を演じ終えた千秋楽の翌日、インドへ2年間の旅に出られたそうです。それは、「仏陀」の故郷で人間について心ゆくまで考えてみたいと思つたからでした。すべてのことを捨てて行くという、その決断力と思い切りの良さに驚かされました。今は八ヶ岳のふもとに住み、仏像を彫ることに集中

されているそうです。いつもニコニコとして、優しい人柄がにじみ出たような滝田氏の態度には、やはり今までの充実した修業や経験があるからなのだろうなあと感じずにはいられませんでした。

彼は、今のテレビにはあまり出たくなひと言われました。チャンネルをひねると多くの有名タレントたちが、あまり意味のないことをおもしろおかしくしゃべっている。そのときは、おもしろいかもいれない。しかし、意義を見いだせない。出演すれば多額のお金が入ってくるかもしれない。でも、疑問を感じている。

私も今のテレビ番組の内容について不満を感じていたところであり、滝田氏の主張に共感するものがありました。本当にまじめに人生のことや、社会のことを考えて、「人生はお金ではない」ということを実践している人がいることに對しても安心しました。

鳥羽ライオンズクラブさんには、こんな良い講師を呼んでいただきありがとうございます。惜しむらくは、もっと多くの市民に聞いてほしい。ありがとうございました。

人権文化の花を咲かせよう

Vol.75

フード・マイレージ

「命あつての物種」ということばがあります。何事も命があつて初めてできるもの、命がなくればお終いだという意味ですが、すべての命の鍵を握っているのが地球であり、太陽であることはご存じの通りです。命があつて、初めて人権について語る事ができます。

さて、洞爺湖サミットに関する報道が行き交いました。特に、待ったなしの課題として「環境問題」が大きなテーマとなりました。ここでは二つの大きな柱がありました。一つは50-50、(2050年までに二酸化炭素排出量を50%削減する)。もう一つはF-

F、(燃料と食糧を投機的高騰から救う)でした。

わたしたちは日常の生活の中で、創意工夫をしながら環境問題に取り組んでいます。さらに効率のよい実践ができるよう「フードマイレージ」ということばを紹介したいと思います。食料の輸送距離という意味で、食料の重量(t)に輸送距離(km)を乗じた数値で表します。食品の生産地と消費地が近ければフードマイレージは小さくなり、遠くから食料を運んでくると大きくなります。当然、輸送にはエネルギーを消費することになりフードマイレージが大きくなり二酸化炭素を多く排出することになります。

少し古い資料ですが、わが国の1年間の国民1人あたりのフードマイレージは7千百万t・kmで世界一だそうです。わが国の食料自給率が37%、エネルギー自給率が4%ということも、うなずけます。

国と国との関係は、経済的な結びつきも含め複雑ですが、未来に豊かな住みよい環境を残すために、日ごろの食生活における「待ったなし」の、より賢い選択が迫られています。